

ひよこ教室だより



令和4年6月

静岡県立静岡視覚特別支援学校

超早期指導教室

電話 054-283-7300

soudan.shizuoka-b@edu.pref.shizuoka.jp

梅やびわが実り、紫陽花の花もあちこちで見かけるようになりました。学校の中庭にはくちなしの香りが漂っています。

気温・湿度が上がり、熱中症が心配な時期です。汗もかきやすくなり、皮膚トラブルが起こりやすいです。ぬれたタオルで汗を拭くなど、子どもも大人も気持ちよく過ごしたいですね。



お友達の紹介

※Aちゃん※

ピカピカ光る棒が気に入ったAちゃん。一生懸命、見ようとしていました。次第に気持ちが高まり、左手をちょっと動かしたり、ご家族の腕や手に自分から手をのせたりするようになりました。そのうちに、御家族の指の間から光る棒をそっと親指で触り始めました。

初めての物を警戒するのは当たり前のことで、アプローチとしてハンドオンハンド（共同動作）があります。Aちゃん自身がハンドオンハンドをしたという深く心に残るあらわれです。



※Bちゃん※

積極的に触るBちゃん。自分のそばにあるカラフルなチューブを取り上げ両手で引っ張ってビューツと伸ばしました。もっと引っ張れるところはないかと手でたどり見つけました。両手を近づけて曲げたりつなげて長くなったチューブを伸ばしたりするのも面白いようでした。大人がつなげて本人が輪の中にいる状態にしました。遊んでいるうちに形が変わったことに気づきました。しばらく遊び、輪を両手で持ち上げて体から外しました。たどる、触って調べる、操作する姿に力を感じました。



予測・判断し、対処する力

相談時に、病院での待ち時間の様子を教えていただくことがあります。

「子どもの声をじっと聞いています。好きな高さの声があるようで、とても喜んで体をいっぱい動かします。時々、壁を触っています。冷たいのがいいみたいです。」

「待合室のソファに抱いて座ると膝からおりてソファをなでたり端までつたい歩きたりします。病院のソファだと覚えていて確かめているみたいです。」

「ずっと病院内をぐるぐる歩いています。乗り物のところに何回も行きます。」

「アー、アーと声を出した後、反響しているのを聞いているみたいです。広いから響き方が家と違って面白いのでしょう。」

お子さんの行動の意味をとらえていらっしやると感心します。それぞれのお子さんの個性が光る素敵なあらわれも微笑ましいです。

病院に来たことを大人が伝えていても、お子さん自身が発見した方法で調べたり確認したりするのは注目すべきあらわれです。「予測・判断し、対処する」という大人が社会生活でも発揮している力の芽生えがここにあります。見えない・見えにくいと限られた少ない情報で周囲の状況を判断することになります。実際の行動に役立つ確実な予測を働かせたいです（例：匂いがする、ガスだ、ここにいたら危ない、逃げよう）。

大人が見えた情景をお子さんの代わりになって言葉で伝えることと、お子さん自身が発見し調べたり確かめたりすることの両方を大事にして成長を支えていきましょう。

担当者研修会（対象：相談を利用しているお子さんにかかわる先生方）

保護者の皆様からの承諾が得られた在籍園等に連絡し「視覚障害児 担当者研修会 ～見えにくさのあるお子さんの支援を考えよう～」(6月29日午後)の御案内をお送りしました。感染症対策のため人数を10人にしぼって開催します。個別の質問も受け付けています。お子さんの成長を支える連携作りの機会にしたいです。

訪問相談（公的機関の依頼に基づいて訪問する相談）

在籍園等からの依頼に応じて、訪問支援を行います。お子さんにかかわる先生方と必要な支援を考えます。令和3年度は3回実施し、見えにくさに配慮した環境整備や教材提示等を話し合いました。

訪問相談を御希望の場合は、担当の先生に相談し園等をとおして依頼していただくよう、お願いします。

